

## 令和6年度 学校評価(保護者)の結果と考察

一宮市立起小学校  
令和6年12月上旬

- 1 対象 ・保護者 167人
- 2 項目 ①保護者アンケート  
教育方針(1、2) 家庭・地域との連携(3~6) 学校生活(7~13)  
確かな学力(14~16) 豊かな心(17~24) 健やかな体(25~27) 合計 27項目  
②児童アンケート 合計19項目
- 3 実施日 12月上旬
- 4 集計方法 ・各アンケート項目に対して、A(よくあてはまる)、B(ややあてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(全くあてはまらない)の評価をする。  
・AとBを肯定的評価とし、CとDを否定的評価とする。肯定的評価の割合を算出し、教育活動の見直しをする。

### 5 評価の結果

①保護者アンケート(令和6年度より項目数が増えたため、令和5年度にない項目の結果は斜線で表記。)

アンケート項目	◎は肯定的評価が95%以上 ○は肯定的評価が90%以上95%未満 ▼は肯定的評価が80%未満	令和6年度 肯定的評価	令和5年度 肯定的評価
	1 本校の教育目標、経営理念、重点努力目標等は共感的に受け止めている。	◎	96.4%
2 学校は教育方針や教育活動の状況を、学年だよりやホームページ、PTA諸会合などでわかりやすく伝えている。	◎	95.2%	○94.8%
3 学校は保護者への連絡をきめ細かく行っている。	○	90.4%	◎95.0%
4 学校は子どものことについての相談に適切にに応じてくれる。	○	93.4%	○94.4%
5 学校は保護者の意見や要望をくみ取る努力をしている。	○	92.2%	◎95.1%
6 学校は学習内容や進度を学年だよりなどによって、わかりやすく伝えている。	○	94.6%	◎97.0%
7 子どもは元気に学校に通っている。	◎	96.5%	◎98.7%
8 子どもは自分の学級は楽しいと言っている。		89.8%	○93.7%
9 先生は子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。	◎	95.8%	◎96.8%
10 学校は子どもの安全確保に努めている。	◎	95.2%	○94.7%
11 学校の行事や体験活動は、子どもの成長に役立っている。	◎	96.4%	◎99.0%
12 学校は様々な教育活動の中で、互いに尊重し合う心の育成に努めている。	◎	97.6%	/
13 学校はいじめ・不登校対策について積極的に取り組んでいる。	○	94.0%	/
14 学校は子ども一人一人を大切に、きめ細かな授業を進めている。		89.8%	○90.8%
15 子どもは授業が分かりやすいと言っている。		85.0%	87.9%
16 子どもは家庭学習の習慣が身についている。	▼	74.8%	▼79.0%
17 子どもは挨拶がしっかりできている。		88.6%	80.0%
18 お子さんは正しい言葉遣いができている。	▼	77.8%	▼68.8%
19 お子さんは早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けている。		84.4%	◎96.1%
20 子どもは社会生活のマナーやルールを身につけている。		88.6%	○92.2%
21 お子さんは自分のよいところが分かっている。		83.2%	/
22 お子さんは人に親切にしようとする意識を高め、進んで人の手助けをしようとしている。	○	90.4%	/
23 お子さんは、家の手伝いや役割分担を、進んで果たそうとしている。	▼	74.8%	/
24 子どもは地域の人々との交流の場に参加している。	▼	55.7%	▼55.4%
25 お子さんは進んで運動し、体力づくりに取り組んでいる。	▼	68.2%	/
26 お子さんは日頃から交通事故防止など、自分の身は自分で守る意識が身に付いている。		88.0%	/
27 お子さんはゲームやスマートフォンなどの機器を時間を決めて使用し、ルールやネットモラルを守って安全に使用している。	▼	64.7%	/

## 6 保護者の声に対する改善策

### <学習に関して>

#### ①「確かな学力」について

学習指導については、保護者の方から全体的には肯定的な評価をいただいています。しかし、「15.子どもは授業が分かりやすいと言っている」については、87.9%から85.0%と前年度より低下していました。また、「16家庭学習の習慣が身につけている」と答えた保護者は79.0%→74.8%と低下していました。この結果から、学校では基礎基本を重視した指導を行い、「わかる・できる」が感じられる授業改善に学校が取り組んでいます。また、家庭と連携をとって、学校で学んだことを家庭学習で復習し、確実な定着を図ります。さらに、「学びの自信」に繋げがる取り組みを行うことで学習意欲の向上を図ります。

#### ②職員の授業力向上について

子どもたちの学力を高めるためには、職員が授業力を向上させ、楽しく・分かりやすく・身に付く授業を行うことが不可欠です。しかし、「15.きめ細かな授業」についても、先の「確かな学力」同様、昨年度90.8%から今年度は89.8%となり、個に対応した学習支援が保護者から不十分と感じられています。

今年度は年間を通して現職教育の研究体制を確立し、各学年による授業研究を進め、子どもの言葉を生かした授業づくりなどの研修を深めてきました。今後はより、子どもたちへの多様な支援、指導スキルを上げ、更に対応した指導を丁寧に進めていけるようにしてきます。教室で友達と楽しく交流し深めていく学び合いの授業や、タブレット端末や具体物を活用した授業に取り組んでいきます。

### <生活に関して>

#### ①挨拶や言葉遣いについて

保護者アンケートの挨拶についての肯定的評価は、R3 76.1%→R4 80.3%→R5 80.0%でしたが、R6は88.6%と向上しました。学校で主催している「あいさつ運動」では、保護者ボランティアや尾西第一中学校の生徒と連携して、元気な朝の挨拶をすることができました。より挨拶の意義を理解させ、よいコミュニケーションの方法の一つである挨拶をきっかけに、より良い人間関係を築けるよう、地道に指導していきます。

言葉遣いについての肯定的評価も同様に、R3 64.3%→R4 70.9%→R5 68.8%でしたが、R6は77.8%と大きく向上しました。学校は様々な関わりから言葉を学ぶ場です。場に応じた言葉遣いができるように意識した指導も大切です。そのためにはまず教師が範を示し、「くん・さん」をつけて名前を呼ぶように心掛け、「です・ます」という丁寧な語尾で会話をしていきます。そして、挨拶と共に、日常と学習の場での会話、大人に対して話すときの丁寧な言葉など、相手や場に応じた言葉遣いと、友達の気持ちを考えた言葉掛け、更には大勢の前での発表の仕方や対話や討論の仕方を指導し、子どもたちが生きていく力として身に付けさせていきます。

#### ②登下校・通学団について

昨年度と比べると、今年度は通学団でのトラブルが大変少なくなりました。ミニ通学団会での情報収集とともに、問題が起こった場合は、保護者の方が寄り添って解決をしてくださったり、学校と地域とが相談しながら対応したりしてきた成果です。今後は、班長・副班長の自覚を一層高め、子どもたちの安全に対する意識の高揚を図りたいと考えます。また、今年度も「交通事故ゼロ」で表彰されるなど、8年間無事故は評価される点です。今後も帰宅後の交通安全の意識を高めるために、自転車乗車時のヘルメットの着用や一旦停止、飛び出しの禁止などの指導や、帰宅後の遊び方のマナーなども呼び掛けていきます。

### <その他>

#### ①地域行事への参加について

昨年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、起・大徳・小信中島の各連区とも、地域づくり協議会や公民館活動等で、行事が再開されました。今年度は各連区で児童が参加できる市民体育祭や文化祭、三世代交流会なども行われ、各行事には保護者と共に笑顔で参加する児童の姿が見られました。しかし、保護者アンケートの結果を見ると、地域行事に積極的に参加しているという意識が低いようです。(R3 47.2%→R4 55.8%→R5 55.4%→R6 55.7%) 保護者の共働きによる、土日などの余暇の過ごし方の変化や地域コミュニティへの加入率の低下などもあり、地域行事に子どもたちが参加することは難しいというのも理由の一つかと思われまます。地域は地域に住む子どもたちを大切にしようという気持ちが強く、繋がりを深められるように努力しています。学校でも、そのような地域の良さを感じ取れるよう、働きかけていきます。